

平成25年度北海道小学校長会地区活性化支援事業【実践事例レポート】

- 1 報告地区：根 室
- 2 事例報告学校名：根室市立成央小学校
- 3 報告者職・氏名：校長 山田 康司
- 4 キーワード：学校力 向上



# 学校力向上のために

— 根室市立成央小学校 —



1 はじめに

校長は、勤務校の実態を正確に把握し、適切な経営方針を立てなければなりません。児童の実態に基づくことはもちろんですが、児童を伸ばさせるために、教職員・保護者・地域をどう変容させ、学校力を高めていくかがカギだと考えます。このステップ抜きに生活力や学力の向上は図れません。そこで、年度当初に教職員・保護者の意識変革のため、それぞれに向けた資料を配布し、学校経営に対する考えを発信しています。

2 「新年度の学校経営にあたって」～ 職員への提言資料

平成25年度  
「新年度の学校経営にあたって」  
校長 山田 康司

1 私たちの目指すべきこと

『人間力』の向上 ⇨ 『教師力』の向上 ⇨ 『学校力』の向上

(1) 人間力の向上～雰囲気、人間性、社会・対人関係的要素の向上  
「人として高まること」  
(2) 教師力の向上～教育姿勢と具体的指導力の向上…マインドアップ・スキルアップ  
「教師として高まること」  
(3) 学校力の向上～教職員の協働・協調による教育力の向上・保護者の教育意識  
「学校として高まること」

2 大切にしたい3本の柱

(1) 共通理解・共通行動・相互理解。  
「成央小の児童は、成央小の全職員の手で育てる」ための基礎・基本。会議等で決まったことは、全員で足並みをそろえて行おう。学校の教育力の高さは、組織力の高さと間違いなく比例する。同時に各学年・特別支援学級・各分掌内外での相互理解を深め、協力体制を強化しよう。

(2) 生活指導力と教科指導力の向上を図ろう。  
～職員自ら「生涯学習の主体者」であることを自覚し、自己研鑽に励もう。各種研究会・研修会、教育課程研、道研等に積極的に参加して、学習指導力と生活指導力を高めよう。

(3) 率先垂範・師弟同行を常とする。  
～子どもたちにやらせようとするなら、まず教職員自ら行うようにしよう。そして一緒にできるようにしよう。

「こころざし」を持った教職員になろう  
教育は人づくりである。教職員には、生きる力と夢・希望を持った子どもたちを育てようとする確かな「こころざし」が必要。そのこころざしの実現のため、以下のことを常に心に刻もう。

(1) 『常に問題意識を持つ』  
～課題のない学校など存在しない。教育活動にこれで充分などということはない。常に実態把握・計画・実施・評価・改善を行い、よりよい教育活動を実現しよう。安易な前年度踏襲は後退に等しい。1cmでも1mmでも前進することを目指す。

(2) 『教育活動の基礎基本を大切にしよう』  
～「あいさつ・そうじ・べんきょう+時間を守る」の言葉に集約される道徳・生活習慣・勤労精神の醸成や学習訓練と学習習慣の定着等をしっかり行おう。

(3) 『三位一体の教育を行う』  
～これからの教育にもっとも必要とされるのは、学校・地域・家庭の課題を共有とその解決に向けての協調・協働。学校の独りよがりの思いこみ教育、中心の家庭教育では、子どもは変容しない。保護者の思いや願いを真摯に受け止め、学校の考えもしっかり発信し、相互理解に努めよう。また、地域の教育力も十分に活用しよう。

学校は組織力と結束力で勝負です。

教師は、子どもたちのお手本でなければなりません。

・時を守り  
・場を清め  
・礼を正す  
～教育の基本です。

人として、教師として、学校として高まらなければなりません。



先生方もしっかりあいさつ。

### 3 「成央小学校の教育活動について」～ 保護者向けPTA総会資料

**「平成25年度 成央小学校の教育活動について」**  
根室市立成央小学校 校長 山田 康司

**1 はじめに**  
課題のない学校など存在しない。教育活動にこれで充分などということはありません。常に問題意識を持ち、よりよい教育活動を目指す。安易な前年度踏襲はせず、でも1mmでも前進することを大切にしたい。


**私たち教職員のなすべきこと**

- (1) 人間力の向上～「人として高まること」
- (2) 教師力の向上～「教師として高まること」
- (3) 学校力の向上～「学校として高まること」
- (4) 学校生活の基礎基本「あいさつ・そうじ・べんきょう+時間を守る」をしっかりと伝える。教職員自らも実践する。成央小学校の子は成央小学校の教職員全員で育てる。
  - ① あいさつ～道徳心の基礎基本。社会生活に必要なこと。
  - ② そうじ～働くことの基礎基本。汚い環境できれいな心の子は育てない。
  - ③ べんきょう～読み書き計算・勉強の仕方の習得。
  - ④ 時間を守る～規則正しい生活の基礎基本。
- (5) 学校での出来事や教職員の思いや願いをしっかりと保護者の皆さんに伝え、学校へのご意見・ご要望をしっかりと受け止めること。


**3 保護者の皆様をお願いしたいこと**

- (1) 子どもの生活リズムを守ってやること。(大人の都合で生活させないこと)
  - ① 早寝早起きをさせる。時間通りに学校に送り出す。遅刻させない。
  - ② 朝ご飯をしっかりと食べさせる。
  - ③ 学年に応じた家庭学習に取り組ませる。
- (2) 子どもを甘やかさないこと。子育ては子どもとの戦い。
  - ① できることは自分でさせる。親が思っている以上に子どもは何でもできる。
  - ② 悪いことは悪いと叱り、良いことはしっかりと褒める。
  - ③ 子育てに一貫性を持つこと。対応が違えば親(大人)に不信感を持つ。
  - ④ 子どもの言うことを鵜呑みにしない。子どもは自分に都合のいいことを言う。
- (3) 学校・担任の先生に思いや願い、疑問点などをしっかりと伝えること。
  - ① 学校に前向きな意見を言ってくれる保護者の方は、ありがたい存在である。
  - ② 子どもたちの前では学校や教職員の悪口を言わない。

**4 おわりに**  
これからの教育にもっとも必要とされるのは、学校・地域・家庭の課題意識の共有とその解決に向けての協調・協働。学校の独りよがりの思いこみ教育や家庭の我が子中心主義教育では子どもの健全な成長は望めない。地域・保護者の思いや願いと学校の考えを相互理解した上で、子どもたちの教育にあたりたい。



**力を合わせてお掃除します。**



**「早寝・早起き・朝ご飯・テレビを消して家庭学習」**

**学校・家庭・地域の協力を呼びかけます。**

**教育活動の改善と充実を約束します。**

**学校の姿勢や重点を表明します。**

**伝えるべきことははっきりと保護者に伝えます。**

### 4 終わりに

校長には、「教師集団は何をすべきか」を明確にする責任があります。通り一遍の学校経営方針をくどくど説明しても何も伝わりません。本校の場合は、「あいさつ・そうじ・べんきょう+時間を守る」を合い言葉とし、「率先垂範・師弟同行」をしっかりと意識して実践することを求めました。これは、すべての教育活動の土台です。「絵に描いた餅」となってはなりません。

地域・保護者の方には、学校の姿勢と保護者としてなすべきことを伝えました。「今時の親は…」と嘆くだけでは何も変わりません。積極的な働き掛けが大切です。

このような実践を行って2年目となりますが、先生方は意欲的に活動し、児童も校内的に大変落ち着いています。家庭の協力も相まって、学力検査・生活状況調査の結果も確実に上向いてきています。

今後も上記のような、「教育活動の土台づくり」と、「人間力・教師力・学校力の育成」を大切にする学校経営を行っていきたくと考えています。